

1月：睦月(むつき)

<第260号>

事務局だより

令和7年1月10日発行

現在の会員数

合計 185名

(男性 122名)

(女性 63名)

□ 新年のご挨拶を申し上げます

会員の皆様、あけましておめでとうございます。昨年は皆様に大変お世話になりました。本年も一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年末年始にかけ降り続いた大雪が、1月現在で平年の3倍を超える積雪となり、昼夜を問わず片付けに追われさぞお疲れになっていることと存じます。

くれぐれも無理をせず、安全を第一優先に考え雪片づけを行ってください。

さて、シルバー人材センター事業においては、依然として会員数の減少が続く、地域から寄せられる全ての需要に応えることが出来ないでいることや、従事するまでに時間を要してしまうなど、ご迷惑をお掛けしている状況にあります。しかし、令和6年度事業の現時点では、会員数などで昨年度同期を若干ではありますが上回った実績となっています。これもひとえに会員皆様のご協力による賜物と感謝申し上げます。

ところで今年(2025年・令和7年)は巳年(みどし・へびどし)です。一般的に知られているのは十二支の「巳(み)」ですが、より正確には今年の干支は「乙巳(きのとみ)」になります。「干支(えと)」というと、ね・うし・とら・う…と動物のことを思い浮かべる方がほとんどかと思いますが、実は干支は「十干(じっかん)」と「十二支(じゅうにし)」を組み合わせたもののことを申します。十干(じっかん)とは、もともと中国で一から十までを数えるために使われた言葉で、陰陽五行にも通じる考え方です。

乙(きのと)は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。

また巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされております。

そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。そこで、当シルバー人材センターも乙巳(きのとみ)にあやかり「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展」させていきたいと思っておりますので、令和6年に引き続き会員皆様のお力沿いを賜りますようお願いいたします。そして、会員の皆様にとりまして輝かしい一年になりますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

□ 安全就業の徹底に・・・！

テレビや新聞等でご存じかと思いますが、県内でも雪下ろしや除雪作業中による転落や雪に埋もれて亡くなられた方がいることから、会員の皆さんも作業をするときは気を付けてください。事故に遭わないためにも下記の注意事項を守ってください。

※ 国土交通省「雪下ろし安全10箇条」より転載

1.安全な装備で行う（最重要！！）



- 安全な装備は、屋根からの転落などの事故を未然に防ぎます。
- 安全帯は、腰全体を支えるハーネス型や体全体を支えるフルハーネス型を使用。
- 命綱は、ザイルロープなど丈夫なものを屋根の上で止まる長さで正しく結ぶ。
- 命綱の一端は、アンカー（無い場合は雪下ろしをする屋根の反対側の柱や固定物）にしっかりと固定する。
- ヘルメットは、あごひもを締め、長靴は、滑りにくいものを使用し、動きやすい服装で作業する。
- これらの装備は、ホームセンターや登山キャンプ用品店などで購入できます。

2.はしごは固定する



- はしごが転倒することがあるため、必ずしっかりと固定する。
- 足元をしっかりと固め、ロープや器具を使用。
- はしごは、斜めに立てかけず、屋根に対して決められた角度でまっすぐ立てる。
- はしごの長さは、軒先から少し高くかける。
- はしごの昇り降りは注意し、はしごから屋根に移動するときは特に注意。
- はしごの上で雪底を落とすなどの作業は危険なため、絶対にやめましょう。

3.作業は2人以上で行う



- 1人での作業は、事故が発生した際に、発見が遅れる可能性がある。
- 発見が遅れると重大な事故につながる危険性が高くなる。
- 家族や親戚と一緒に複数人で除雪作業を行う。
- 近所の方や地域コミュニティと協力して作業を行う共同による除雪活動も重要。

4.足場の確認を行う



- 屋根の雪止めの位置を確認してから作業を行う。
- 落雪に巻き込まれないように、屋根の上から下ろす。
- 滑りにくくするよう、雪は少し残して作業する。
- 濡れていて気温が高い日は、滑りやすくなるため特に注意。
- 水路等に転落する事故も増えているため注意。

5.雪下ろしのときは周りに雪を残す



- 屋根から転落した際に、地面、アスファルト、コンクリート等に強打すると、被害が大きくなる可能性がある。
- 落下した場所に検査があることで被害を軽減することができる場合がある。
- 屋根の雪下ろしを行う場合は、雪下ろし後に住宅周りの除雪を行う。

6.屋根から雪が落ちてこないか注意する



- 屋根から雪が落ちてくる可能性があるため、住宅の周りで除雪する際に軒下では注意。
- 屋根に雪が積もって時間が経つと、氷のように堅くなり、直撃すると非常に危険。
- 新雪や濡れて暖かい日のゆるくなった雪は特に注意。
- 屋根雪を人力によらず落下させる落雪式住宅の場合は特に注意。

7.除雪道具や安全対策用具の手入れ点検を行う



- スコップやスノーダンプなどの除雪道具は、雪がつきにくくなるスプレーを使用するなど使いやすくしておく。
- 除雪道具や安全対策用具が古くなり、壊れていないか定期的に点検しましょう。

8.除雪機の雪詰まりはエンジンを切ってから棒などで取り除く



- 雪が詰まったときは、必ずエンジンを切ってから雪を取り除く。
- つまりを取り除くときは、棒などを使用する。
- 素手で取り除くのは、非常に危険なため絶対やめましょう。
- デッドマンクラッチ（安全装置）をひもで縛るなど、無効化することによる事故が増えています。絶対にやめましょう。

9.携帯電話を身につける



- 事故が発生したときは、動くことができなくなる場合があります。
- 携帯電話を身につけることで、緊急時でも家族や緊急医療機関などにすぐに連絡をとることができます。

10.無理はしない



- 除雪作業は重労働です。体調が悪いときは、除雪作業を行わない。
- 作業前には、準備運動を行う。
- こまめに休憩をとりながら作業を行う。
- 寒い屋外での重労働による発作など発症の危険性があるため無理をしない。

□ 除雪機操作講習会について

先月号で、1月中旬以降に大型除雪機械を使用した除雪機操作講習会を開催予定とお知らせしましたが、ご承知のとおりこの大雪により講習会を実施する会場が確保できない状況となっているため、1月での開催を延期といたします。

よって、講習会の開催にあたっては2月の状況を見ながら日時や場所を決め、改めてご報告いたしますのでご了承ください。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター
〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1
TEL 0172-52-5131 / 緊急連絡先 080-6011-5131
ホームページURL <http://sjc-kuroishi.jp/>